



市内のがんばるものづくり企業を紹介します だいせんものづくり図鑑

no.08

中仙地域やりみない見内地区で自動車やオートバイなどの金属配管パイプ部品を製造しているのが秋田上日工業株式会社（大庭誠芳代表取締役社長）です。同社は上日工業株式会社（本社・静岡県）が業務拡張に伴い、1988（昭和63）年、県の誘致企業として設立しました。

同社は金属パイプの曲げ加工の工法で工法特許を保有しています。この工法はパイプを曲げたときの扁平率（パイプの断面が円と比べてどれくらいつぶれているかを表す値）を10%以下に抑えた上で45度から95度の角度に曲げるもので、この技術で作られたパイプは「極小曲げパイプ」と呼

ばれています。この技術により、溶接箇所が削減され、品質が向上。また、部品が軽量になり、狭いスペースでの配管などが可能となることから、トヨタ、日産、ホンダ、スバルなど国内の主要な自動車メーカーに採用されています。量産品は中国などの海外で生産されていますが、国内でなければ生産できない高品質な部品を求める声は多く、同社の取引先は増えています。

年間340万個の製品を出荷している同社。今後も顧客のニーズに応えるため、専門メーカーとして管理、技術力を向上させ、良い製品を作ることにより社会に貢献したいと考えています。



「曲げ」の技術に高い評価

秋田上日工業(株)

製造品目／自動車用金属配管パイプなど

従業員数／38人

★今回の案内人は取締役工場長の勝又孝吉さんです。